

# 記載例

様式第2号

## 資力に関する申出書

内灘町長 川口 克則 様

私、\_\_\_\_\_は、（令和6年能登半島地震）のため、住家が半壊しております。

住家を修理する資力が下記の理由のとおり不足するため、応急修理を実施していただきますようお願いいたします。

### 記

※世帯の収入の状況、資力が不足する理由を具体的にご記入ください。

#### （記入例）

- ・住宅ローン、教育ローン等を組んでおり、手持ちの現金もほとんど無いため、応急修理費用が工面できない。
- ・日常生活費や教育費等の支払いで余裕がないため、応急修理を実施する資力がない。
- ・年金収入のみのため、応急修理を実施できる資力がない。
- ・介護費用などの出費で余裕がなく、応急修理を実施できる資力がない。

令和 年 月 日

申出者

被害を受けた住宅の所在地

内灘町字大学1丁目2番地1

現住所

内灘町字大学1丁目2番地1

氏名 内灘 太郎